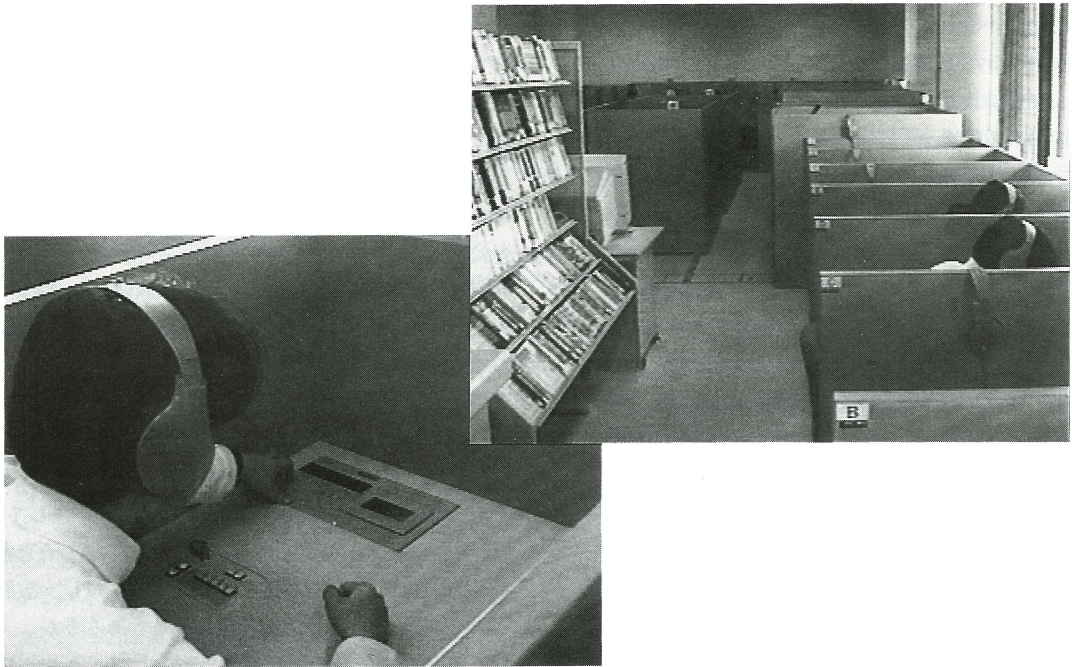


0-4-91

AV JOURNAL

1996年3月 第26号



〈4F テープ・ライブラリー〉

目次

| | | |
|----------------------------|------------|----|
| カセットテープのなかの歴史..... | 桑島 昭..... | 2 |
| 今後の『視聴覚外国語教育研究』展望 | | |
| —大阪外国語大学独自のトータルな語学教材 | | |
| 開発研究のCD-ROM化を目指す—..... | 林田 雅至..... | 3 |
| モンゴルの映画はおもしろい..... | 今岡 良子..... | 5 |
| 1994年度テープ・ライブラリーの利用状況..... | | 7 |
| 5-II LL教室のリプレイスについて..... | | 9 |
| 新規購入映像資料一覧..... | | 10 |

カセットテープのなかの歴史

附属図書館長 桑 島 昭

いまから30年まえの1966年1月、インドのビハール州で汽車旅行をしていた私は、事故に遭遇し、それまでの3ヵ月の旅行の間に集めた資料をもう一度集め直さなくてはならなくなった。そして、1930年代のビハール州農民運動の指導者ジャドゥナンダン・シャルマー氏とのインタビューも果たせないまま、いったんデリーに戻ることになった。ふたたび、ビハール州に出かけたのは、3月の中旬、冬に完成しなかった仕事か、否応なく夏の仕事となった。

州都パトナーでは、当時パトナー大学で研究をされていた日本人の友人がシャルマー氏とのインタビューのためにテープレコーダーを貸して下さった。テープレコーダーに触れる機会もなかった私は、そのときまで操作の仕方も知らなかった。

ガヤーで久しぶりに会ったジャドゥナンダン・シャルマー氏は、初対面のときの表情とは異なり、笑顔で私を迎えてくれた。4月のガヤーの温度は40度を越える。しかし、65才のシャルマー氏は、1930年代の自分を語るのに格別の感慨を覚えた様子で、こちらで用意した質問書を読んだ上で、文面で回答を前以て用意し、それを基礎に私を前にして気持ちの赴くままに30年代の思い出と60年代半ばのインド観・インド農民観を二日間にわたってテープに吹き込んでくれた。午前中は、部屋を開け放してのインタビューであったが、午後は、外からの熱風を避けるため、戸を閉めなければならなかった。二日目の午後、インタビューが終わったあとで、シャルマー氏は、日本のミルク湧かしのような器で、オレンジをしぼった汁を出してくれた。ガヤーの暑さのために熱くなったジュースの味をいまでも思い出すことができる。でも、そのあたたかいジュースには、インタビューを終えたあとのシャルマー氏の満足感と心遣いが込められていた。

1975年、ほぼ10年ぶりにインドを訪れた私は、その年、ジャドゥナンダン・シャルマーさんが亡くなられたと聞き、胸に迫る思いがあった。1930年代のビハール州の農民運動といえば、まず、サンニャーシー（修道僧）から農民運動指導者となったスワー

ミー・サハジャーナンド・サラスワティーを思い浮かべる。シャルマーさんは、サハジャーナンドを陰で支えた人物である。サハジャーナンドは多くの著作を残しているが、シャルマーさんには、著作はなく、1939年のレーオラー村の農民運動の指導者としてその名が知られているだけである。しかし、シャルマーさんの思い出は、農民運動指導者の人と思想だけでなく、1930年代における無名の農民、そして、農村の女性の動きをよく伝えている。

ジャドゥナンダン・シャルマーさんとのインタビューに到達するまでには、インドでの3年半の生活を必要としたが、一方で、テープレコーダーという機器に大いに助けられたことも事実である。私にはシャルマーさんのヒンディー語を即座に聞き取る能力はなく、この機器の助けなしには、シャルマーさんのほとぼるの気持ちを記録に収めることはできなかったであろう。

インドで出されている近現代史の著作や論文を読むと、参考文献の最初に挙げられるのは、概して、「一次資料」としての「政府文書」であり、研究書は「二次資料」として記されている。しかし、政府文書はいかなる意味で一次資料なのであろうか。

歴史研究の伝統的な手続きは別として、ふつうの人々にとっては、歴史から真実を学ぶ一次資料は、ごく身近な現実のなかにある。視聴覚資料は、しばしば似て非なる「ドキュメンタリー」を作り出すが、他方で、それぞれの人にとってかけがえのない意味をもつ一次資料をも提供できるのである。



今後の『視聴覚外国語教育研究』展望

——大阪外国語大学独自のトータルな語学教材開発研究のCD-ROM化を目指す——

1995年度多目的語学演習装置の調達に関する仕様策定委員会委員長
地域文化学科・ヨーロッパIII講座 林 田 雅 至
(ポルトガル語コース)

従来の語学教育のあり方を考えてみると、一つの見方としては、初等・中等教育で現在問題視されている、知識の詰め込み主義教育の実態との関連で言えば、一般論として大学の語学教育は、文部省指導要領に束縛されないために、非常に自由な形で実施されているよい側面と、実は知識の詰め込み主義教育の延長線上にあり、また、特に英語コース以外で大学課程から学び始めた1、2年生の初歩的な段階における授業時間上の制約、また一部の語コースにおける1クラスの受講者人数の問題——複数の外国人教師から出されている真摯な意見であるが、10-15名以上での語学実習は不可能に近く、それ以上的人数となると、現実との妥協の産物として、人によっては、罪悪感さえともないながら、あたかも手抜き授業を行なっているという悲しい実感を抱かざるを得ないと彼らは本音を漏らしている——も障害となって、外国語習得の技術論に終始し、知識の伝授にとどまっている消極的な側面の両面が存在するように思われる。

これまで学校におけるいじめの問題、阪神大震災、オウム事件などを経験し、戦後50年目を迎える節目の年に至って、従来の価値観の崩壊を契機とする、教育現場における知識の詰め込み主義教育の是正が迫られているという現状である。小学校・社会科の教科書の記述に注目してみると、アジアに関する記述、国旗としての日の丸の記述、阪神大震災の事実記述などは異なる価値観を混在的に共存させることで文部省の教育現場に対する姿勢にも所謂揺れを見てとることが可能である。このように価値観の複数化した教科書を学ぶ子供たちが高等教育機関に到達するには最短年月で6年であるが、ざっと10年ほどを経過した頃には、大学に入学してくる子供たちの

価値観にも必ずや変化が見られるはずである。ただ、それまでの数年間から10年ほどについて、大学に入ってくる学生は旧来の知識詰め込み主義教育の洗礼を受けており、彼らに対して、社会全体の価値観の変貌にも十二分に合った教育が大学でも行なわなければならないだろう。

外国語大学である本学は徹底した語学教育を看板にしており、学生は、習得しようと意欲をもって入学した各語コースでそれぞれの言語を学習するだけでも、みずからの内面に日本人として育ち、培われてきた価値観と、語学を媒体として入力される、その国・民族固有の合理性に裏打ちされた、日本人とは異なる価値観との共存が約束され、ある場合には自らの価値観が揺すぶられることも十分にあるだろう。また、ある場合には自己の防衛本能が働き、価値観・合理性の衝突を回避して、知識の受容にとどめるということもあるだろう。

これもまた一般的な話であるが、円高を強力な武器として休暇を利用し、海外旅行を享受する学生の姿には、語学的知識が旅行携行品目の一つに甘んずる地位を与えられているという実態があるような気がする。こういったことも一因となって、語学教育が軽く見られ、実効性の薄いものと即断されているのではないか。そういう危惧の念が脳裏をよぎるのである。社会的価値観の動揺が継続するこれから暫くの間は語学教育も改善を差し迫られ、一方で逆に、従来貼られてきたレッテルを剝がす、積極的に自己変容する絶好の機会であると判断される。

『視聴覚外国語教育研究』の掲載論文・研究報告について、マルチ・メディア時代、情報のCD-ROM化の急速な動向も睨み、言語学・音声学などを主軸

とした視聴覚応用教材・研究の報告・論文という従来の枠組みを大幅に拡大し、より一層視聴覚的效果をふんだんに取り込んだ語学教材開発研究のみならず、誤解を恐れずに言えば、トータルな語学習得を展望し、日本人としての価値観が揺すぶられるほど迫力のある、そしてそこには複数の価値観を射程に入れ、視聴覚的資料も豊富に取り入れた政治経済、文学、広義の文化など諸領域の学問の研究成果も取り込むことを是非提言したい。そうした専門性の高い論文は、また、それに直面することによって、読み手である学生がみずからの意欲と意志に従って自己の内側に存在する価値観を改編・刷新し、新たな価値観を構築出来得るような効果が十分に期待される質を有したものを目指さなければならない。そして、私見によれば、両者の二人三脚による一心同体的関係こそが、新しい視聴覚教育の時代に適した一つの理念型ではないかと思う。従って、今回の『視聴覚外国語教育研究』第19号以降、毎号について、可能な範囲で教材などのプロトタイプ of CD-ROM 化という実験的試みも行ないながら、『視聴覚外国語教育研究』そのものの CR-ROM 化によって、全体的な語学教材に関わる創造的なアイデアをビジュアルに提示する必要があるだろう。

現在私は3、4年生を対象にしたポルトガル語圏特殊講義(4G3603)「比較文化論としての応用キリスト教文学・図像解釈学」(火曜日、第3時限、附属図書館401号室)を行なっているが、その大まかな授業計画は「昨年の授業の延長線上にある本講義は、キリスト教図像解釈学を導入しながら、16世紀マヌエル様式期の絵画群を扱ったテキストを解説することから出発し、拙稿「私説《視覚映像文化論》その9：紅色小十字架刻印・聖人物語」(大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』第16号、1993)、p.39-55；同「私説《視覚映像文化論》その10：図像解釈学による黒死病除け聖人崇拜文責～視覚的大衆操作技術の歴史学～」(大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』第17号、1994)、p.13-28.を基礎資料としながら、比較ポルトガル・日本文化、広義に日欧比較文化の立場から、今回兵庫南部地震においてどうしてデマ・流言などに現代日本人は翻弄され易いのかということまでを分析の対象とし、マルチ・メディア時代の極端なハード面先行の現況

を踏まえ、提供される映像メディア、情報などを受け手側がどう解釈・処理したらよいかという問題にまで立ち入って考えてみたい。日本で一刻も早い確立が切望される、所謂メディア・リテラシー学に微力ながら、少しでも貢献出来るような広義内容としたい」(大阪外国語大学『1995授業科目履修案内(昼間主コース・第一部)』)、p.224.であり、毎回の授業内容に関して、扱った絵画・図版、映像など図像資料の解説、使用テキストの語学的な分析など授業運営の実態報告も含む、多角的な視座に立脚した講義録をまとめている。

現在のCD-ROM化の技術的な水準、またハード面を扱うこちら側の技術上の限界を考慮に入れる時、CGを自在に駆使したNHKドキュメンタリー・シリーズ《驚異の小宇宙 人体II・脳と心》(1993.10.31-1994.3.13、全6回)や「大日本帝国のアキレス腱——太平洋・シーレーン作戦」(1992.12.6放送分)でスタートしたシリーズ《ドキュメント太平洋戦争》(1992.12.6-1993.8.15、全6回)など、完成度の極めて高い良質の作品を高嶺の花と捉える冷静な認識に立ち、諦観の境地で空しく夢想しながらも、情報の視聴覚的なプレゼンテーションのあり方として、一つの最終目標——己れを知らぬ忘我の境地と嘲笑・誇りの感は免れないが——とし、年度末には講義録を実験的にCD-ROM化(プロトタイプ)してみたいと考えている。ともかく、スタート地点に立つことが今肝要である。

こうしたCD-ROMを介在する外国語教育領域の新しく、新鮮な発想を発信する全学的な——個別に行なうことは力の分散であって、大学全体のメリットにはならないだろう——体制は、今後対文部省の大型予算確保にも繋がり、ひいては研究費の増額にも直結することになるだろう。繰り返しになるが、アイデアの発信源が大阪外国語大学からである必要があると考えるのである。



「モンゴルの映画もおもしろい」

アジア I 講座 今岡良子

最近アジア映画が国際映画祭の賞をほしいままにしている。アジア映画ファンの友人に「モンゴルの映画も結構おもしろいよ」と話すと、「モンゴルで映画作ってるの?」と返された。遊牧民がどうやって映画を作るのだろうという素朴な疑問であることはわかっているのだが、友人ならそろそろわかってほしいと思った。

モンゴル国は、面積日本の4倍、人口230万人、北はロシア共和国、南は中国にはさまれたモンゴル民族の国である。1921年の人民革命後、ソ連をお手本に「非資本主義的発展」論による社会主義の道を進んだが、1990年の民主化運動、1991年の市場経済への移行を経て、1992年以降「非社会主義的発展」の道を歩んでいる。

社会主義建設期には、伝統的な遊牧を近代化し、経済の基盤として位置づける一方、工業化政策をとり、さまざまな職種の労働者を必要とした。工場労働者、技術者、教育者、研究者、作家、画家、政治家、党幹部。ソ連や東欧で学んだ若者たちが、新しい近代国家を支えていった。党にとって芸術は、党の政策を国民全体にわかりやすく伝える重要な道具であった。

1935年に最初の映画「モンゴルの息子」が、ソ連のレン・フィルムとの合作で作られた。監督・脚本はロシア人、俳優はモンゴル人による。物語は、素朴な遊牧民、モダンな運転手、ずる賢い中国人商人の3人が、1人の美しい遊牧民女性をめぐるラブストーリーで始まる。主人公の遊牧民は、中国人商人とラマ教僧侶に騙されて、東方に桃源郷を探しに行き、満州・内モンゴルを旅する。そこで主人公の見たものは、日本軍統治下に置かれ、非人間的な扱いを受けていた同胞たち。「モンゴル人民共和国は自由で平等だ。いっしょに逃げよう。」と、内モンゴルの友人を誘う場面で、その友人は「いや、僕は故郷に残って日本の帝国主義と闘うよ。」と答える。再会を約束して、主人公は首都ウランバートルに戻る。そこは工場の煙もたちのぼる近代都市。人々は楽しそうに歩き、自転車や車、バスが走り回る。社

会主義による近代化の道が誤っていないことを自覚した主人公は、政庁の党代表と会見、東方の見聞を報告する。その日、国民的祭典ナーダムが開催され、主人公は伝統スポーツ、相撲に飛び入り出場。そして優勝。祝福の拍手の中、恋人と馬に乗り、故郷に帰っていく主人公。めでたし、めでたし、と終わる。娯楽作品としても充分楽しめるよくてきた作品である。

党は映画の配給に力を入れ、都市住民は首都や県都の映画館に出かけ、田舎の遊牧民たちは郡の中心地の公民館に出かける。自分の家に巡回してくる移動映画を見ることもできた。遊牧民にとっては、中身はどうであれ、映画は貴重な娯楽であった。



「モンゴルの息子」より

最近日本でも静かなモンゴルブームがおこり、わざわざ東京から製作者が来室することがある。『モンゴルと言えばチングスハーンか、心ゆたかな遊牧民。個性派タレントをそこに送り込むことによって番組ができる。』と、お考えのよう。日本人にとって都合のいい、モンゴル「再現」がまたくりかえされる。それに比べると、社会主義、民主化、市場経済移行と、大衆とともに生き、その格闘を映画という表現方法を使って形にしようと努力してきたモンゴル人監督の作品は、はるかに迫力があり、おもしろい。

映画評論家の佐藤忠男さんと久子さんご夫妻は、第三世界を歩き、優れた映画を発掘しては、日本語や英語の字幕をつけ、世界に紹介している。「福岡アジアフォーカス映画祭」は、毎年ご夫妻によって

コーディネートされ、1993年はモンゴルの作品6本が特集上映され、6人の映画人が招待された。いずれも若い頃、ソ連で映画作りを学んだ人たちである。中にはタルコフスキーのアシスタントをしたという映画監督いた。招待作品は、純粋に宗教を取り上げた「至福の禍」、ストリートチルドレンを描いた「枷」、地方官僚の腐敗を描いた「牙」、異民族支配下の民族の悲哀を描いた「風雲の聖者」、モンゴル人気質をコミカルに描いた「ゴビの蜚気楼」。そして「モンゴルの息子」。(いずれも図書館に入ってますので、是非ご覧ください。)[「至福の禍」と「枷」は、ハワイもアジア映画祭やベルリン映画祭でも評価を受けた作品である。

来日した監督達に、社会主義時代の表現の自由についてたずねてみた。「完成フィルムをわけのわからん役人らがブツン、ブツンと切る時、それは、それは、痛かった。でも、私は映画が好きだった。だから続けてこられたんだ。」「私は児童映画を作ってきた。役人たちは児童映画を映画と評価しないので、検閲の対象にはされなかった。だから私はこどもを通じてヒューマニズムを描くことができたんだよ。」



「至福の禍」より

「規制されればされるほど、表現力は磨きすまされるもんだよ。一步まちがえば豚箱入りだけど、あいつらよりずっと頭いいと思ってたからね。」彼らにとって、映画は「党の道具」ではなく、むしろ生きる甲斐そのものであった。

1990年、彼らは言論・表現の自由を手にしたが、製作費がない。配給システムはストップ。アメリカや香港映画がビデオで入ってくるし、家にいながらスターTVやNHKが受信できる。モンゴル映画にとって新たな受難の時が来た。しかし、ある監督が言った。「モンゴルの民主化はたしかに東欧の波にのって成功した。これから先は、まず、自分たちの社会のうみを出して、外国のモノマネではない、母国を築いて行かなければならないんだ。だから、表現力を熟成させて、大衆をふりむかせる作品を作る。今こそ、本領発揮の時代だよ。」

社会的責任を感じとり、それをもの作りの原動力に変えていく。真摯な生産者は、先進国、後進国を問わず、どこにでもいる。モンゴルにもいる。だから、モンゴルの映画もおもしろいのである。友よ。



「至福の禍」のN・ニャムダワー監督

《モンゴル映画所蔵一覧》

| 資料名 / 監督 | 資料番号 |
|-------------------------------|--------|
| 偉大なタカ | M-0001 |
| マンドハイ 第1、2部 / B・バルジンニャム ('88) | M-0002 |
| チンギス・ハーン / B・バルジンニャム ('92) | M-0003 |
| ゴビの蜚気楼 ('88) / ドリジパラム | M-0004 |
| 枷 ('91) / N・オランチュム | M-0005 |
| 牙 ('92) / B・バートル | M-0006 |
| 至福の禍 ('92) / N・ニャムダワー | M-0007 |
| モンゴルの息子 / I・トラウベスク | M-0008 |
| 天の馬 ('92) / ナンサリーン・オランテナグ | M-0009 |

〈LL 便り 1〉

1994年度テープ・ライブラリーの利用状況

1994年度（'94.4～'95.3）の月・資料別の利用状況、利用回数の多かった資料の紹介をします。

1. 月・資料別利用回数

| 月 | ビデオ・LD | カセット | CD | 計 |
|------|--------|-------|-----|--------|
| 94/4 | 523 | 24 | 31 | 578 |
| 5 | 1,805 | 230 | 101 | 2,136 |
| 6 | 2,376 | 350 | 142 | 2,868 |
| 7 | 1,881 | 240 | 107 | 2,228 |
| 8 | 379 | 45 | 13 | 437 |
| 9 | 1,530 | 139 | 105 | 1,774 |
| 10 | 1,758 | 351 | 133 | 2,242 |
| 11 | 1,698 | 291 | 92 | 2,081 |
| 12 | 1,366 | 223 | 62 | 1,651 |
| 95/1 | 881 | 153 | 74 | 1,108 |
| 2 | 976 | 148 | 47 | 1,171 |
| 3 | 277 | 15 | 11 | 303 |
| 計 | 15,450 | 2,209 | 918 | 18,577 |

2. 利用の多かった資料紹介

①ビデオ・LD

| | 利用回数 | 資料名 | 資料番号 |
|----|------|-----------------|---------|
| 1 | 242 | リバー・ランズ・スルー・イット | (E-647) |
| 2 | 207 | アニメ 美女と野獣 | (E-639) |
| 3 | 206 | ボディガード | (E-644) |
| 4 | 186 | 逃亡者 | (E-648) |
| 5 | 184 | ルームメイト | (E-640) |
| 6 | 156 | トゥルー・ロマンス | (E-659) |
| 7 | 152 | マイ・ライフ | (E-663) |
| 8 | 141 | 羊たちの沈黙 | (E-554) |
| 9 | 140 | 野生の夜に | (F-219) |
| 10 | 130 | 氷の微笑 | (E-602) |

②カセット・テープ

| | 利用回数 | 資料名 | 資料番号 |
|----|------|-----------------------------------|----------|
| 1 | 51 | TOEIC リスニングの徹底対策 | (E-0683) |
| 2 | 46 | Intergrated spoken Japanese | (J-0019) |
| 3 | 36 | Elementary modern standard Arabic | (A-0016) |
| 4 | 31 | 英検サクセスカセットブック | (E-0643) |
| 5 | 29 | TOEIC リスニング | (E-0681) |
| 6 | 27 | TOEIC 基本問題集 | (E-0682) |
| 7 | 23 | エクスプレス タイ語 | (T-0009) |
| 8 | 22 | TOEIC リスニング攻略法 | (E-0677) |
| 8 | 22 | TOEIC 標準問題集 | (E-0678) |
| 10 | 21 | Deutsch 2000 | (D-0011) |

③ CD

| | 利用回数 | 資 料 名 | 資料番号 |
|----|------|------------------------|-------------|
| 1 | 39 | 最新映画音楽ヒット80 | (MP-006) |
| 2 | 21 | 悲槍・月光・熱情／ベートーヴェン | (MP-002/12) |
| 3 | 17 | 交響曲第5番／チャイコフスキー | (MP-002/65) |
| 4 | 14 | 英雄ポロネーズ、他／ショパン | (MP-002/28) |
| 5 | 12 | 12の練習曲／ショパン | (MP-002/35) |
| 5 | 12 | ドヴォルザーク大全集 | (MP-082/13) |
| 7 | 10 | 24の前奏曲／ショパン | (MP-002/84) |
| 9 | 9 | 世界ことばの旅 | (XX-008) |
| 10 | 8 | 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番／バッハ | (MC-043) |
| 10 | 8 | マンシーニ・グレイテスト・ヒット | (MP-011) |
| 10 | 8 | ピンク・フロイド：ライブ・イン・ロッテルダム | (MPE-011) |

<LL 便り 2 >

平成6年度大学改革推進等経費で購入された教官貸出用機器、資料一覧です。
機器の貸出し、資料の視聴希望の方は視聴覚資料係まで。

1. 機器一覧

- | | |
|---|------------|
| ① Handycam 8 mm ビデオカメラレコーダー | CCD-RV 200 |
| ② Handycam 8 mm ビデオカメラレコーダー | CCD-SC 9 |
| ③小型カセットコーダー | TCM-57 |
| ④ WALKMAN professional | WM-D 6 C |
| ⑤ MICRO CASSETTE-CORDER | M-909 |
| ⑥ FM STEREO/LW/MW/SW PLL SYNTH SIZE RECEIVER (携帯型海外放送レシーバー) | |
| ⑦アクティブスピーカーシステム | SRS-28 M |
| ⑧エレクレットコンデンサーマイクロホン (ステレオ収音用) | ECM-909 A |
| ⑨エレクレットコンデンサーマイクロホン (会議用) | ECM-R 100 |

2. 資料一覧

- | |
|-----------------------|
| ①青いパイアの香り (ベトナム映画) |
| ②略奪の大地 (ブルガリア映画) |
| ③ありふれた事件 (ベルギー映画) |
| ④霧の中の風景 (ギリシア映画) |
| ⑤ハーダー・ゼイ・カム (ジャマイカ映画) |
| ⑥過ぎゆく時の中で (香港映画) |

5-II LL 教室のリプレイスについて

視聴覚資料係

5-II LL 教室がより多目的なマルチメディア対応型 LL 教室にリプレイスされ、新年度より利用可能になります。

従来のフルラボ (28ブース) の LL 装置に加え、14ブースはパソコンを介しての情報交換、情報提供が可能な CALL (Computer Assisted Language Laboratory) システムになっています。従来行われていたオーディオ・テープによる練習状況のモニタリング、インカム、モデルレッスン等の機能は、パソコン・ネットワーク上で行うことにより、音声情報の相互提供、交換に加え視覚情報の相互提供、交換が可能になりました。

ブースの配置は、外国人教官の要望が高いデジション・ルーム (コの字) 型になっており、従来どおり生徒との対面形式の授業ができるようになっています。

LL 教室への CALL システムの導入は今回が初めてのことですが、高度情報化時代に入り、授業へのパソコン、CD-ROM 等のデジタル資料の導入は予想以上に増加しています。

本学においてもこのシステムを使った語学の音声、画像分析、情報処理等のマルチメディア教育が多数行われ、より効果的な授業が展開されることを期待

いたします。

《CALL システムの特長と機能》

①画像・音声の受信

教師側から任意の生徒の画像と音声をモニタリングすることができます。

②画像・音声の送信

教師の作成した画像・音声を任意の生徒、全員に提示することができます。

③画像・音声のモデル送信

モデルにする生徒の画像・音声を他の生徒、教師に提示することができます。

④インターコミュニケーション

教師・生徒間で会話ができ、他の生徒もそれを聴くことができます。

⑤コール

コールボタンにより生徒から教師を呼び出すことができます。

⑥その他

ビデオ、レーザーディスク等の NTSC 信号の送信もでき、マスター、ブースのライン入力はステレオ対応型になっています。

《機器構成表》

| | | | |
|-------------------|-----|---------------------|-----|
| 〈LL マスター部〉 | | 〈CALL マスター部〉 | |
| ① LL マスターコンソール | 1 式 | ①画面転送システム | 1 式 |
| ②マスターテープレコーダー | 2 | ②パーソナルコンピューター | 2 |
| ③ヘッドセット | 1 | ③マルチスキャンディスプレイ | 2 |
| ④マルチスキャンディスプレイ | 1 | ④レーザープリンタ | 1 |
| ⑤教材提示装置 | 1 式 | 〈CALL ブース部 (14ブース)〉 | |
| ⑥ S-VHS ビデオデッキ | 1 | ①端末装置 | 1 式 |
| ⑦方式変換ビデオデッキ | 1 | ②パーソナルコンピューター | 14 |
| ⑧マルチディスクプレーヤー | 1 | ③カラー液晶ディスプレイ | 14 |
| ⑨ミニディスクプレーヤー | 1 | ④レーザープリンタ | 4 |
| ⑩プロジェクションパネル | 1 | | |
| ⑪ワイヤレスマイク装置 | 1 式 | | |
| ⑫天井、前面スピーカー | 1 式 | | |
| 〈LL ブース部 (28ブース)〉 | | | |
| ①ブーステープレコーダー | 28 | | |
| ②ヘッドセット | 28 | | |
| ③マルチスキャンディスプレイ | 14 | | |

新規購入映像資料（レーザーディスク）一覧

その12

(1996年2月現在)

| 資 料 名 | 音 声 | 資料番号 |
|---|-----------|----------|
| 戯夢人生 | (中 国 語) | C-0217 |
| 阿郎的故事 (過ぎゆく時の中で) | 〃 | C-0225 |
| 東方不敗 Swordsman II (スウォーズマン -女神伝説の章-) | 〃 | C-0246 |
| DAS CABINET DAS DR. CALIGARI (カリガリ博士) | (ド イ ツ 語) | D-0067 |
| Fanny Face (パリの恋人) | (英 語) | E-0080 |
| THE WORLD ACCORDING TO GARP (ガープの世界) | 〃 | E-0091 |
| THE ROCKY HORROR PICTURE SHOW (ロッキー・ホラー・ショー) | 〃 | E-0096 |
| An Affair to Remember (めぐり逢い) | 〃 | E-0097 |
| "BARBARELLA" QUEEN OF THE GALAXY (バーバレラ) | 〃 | E-0106 |
| Tootsie (トッツィー) | 〃 | E-0108 |
| The harder they come (ハダー・ゼイ・カム) | 〃 | E-0138 |
| The never ending story 3 (ネバー・エンディング・ストーリー3) | 〃 | E-0146/C |
| SHADOWS (アメリカの影) | 〃 | E-0213 |
| A WOMAN UNDER THE INFLUENCE (こわれゆく女) | 〃 | E-0214 |
| OPENING NIGHT (オープニング・ナイト) | 〃 | E-0215 |
| Children of a Lesser god (愛は静けさの中に) | 〃 | E-0261 |
| The cook the thief his wife & her lover (コックと泥棒、その妻と愛人) | 〃 | E-0262 |
| SUPERMAN THE MOVIE (スーパーマン) | 〃 | E-0422 |
| SUPERMAN II (スーパーマンII 冒険編) | 〃 | E-422/B |
| LOOK WHO'S TALKING NOW! (ベイビー・トーク3 ワンダフルファミリー) | 〃 | E-0534/C |
| A FEW GOOD MEN (ア・フュー・グッドメン) | 〃 | E-0636 |
| Malcom X (マルコムX) | 〃 | E-0637 |
| THE LAST of the MOHICANS (ラスト・オブ・モヒカン) | 〃 | E-0638 |
| Beauty and the Beast (美女と野獣) | 〃 | E-0639 |
| SINGLE WHITE FEMALE (ルームメイト) | 〃 | E-0640 |
| FOREVER YOUNG (フォーエヴァー・ヤング) | 〃 | E-0641 |
| L'amant (愛人・ラマン) | 〃 | E-0642 |
| REGARDING HENRY (心の旅) | 〃 | E-0643 |
| THE BODYGUARD (ボディーガード) | 〃 | E-0644 |
| LAST ACTION HERO (ラスト・アクション・ヒーロー) | 〃 | E-0646 |
| A RIVER RUNS THROUGH IT (リバー・ランズ・スルー・イット) | 〃 | E-0647 |
| THE FUGITIVE (逃亡者) | 〃 | E-0648 |
| THE PRINCE OF TIDES (サウス・キャロライナ) | 〃 | E-0649 |
| little man tate (リトルマン・テイト) | 〃 | E-0650 |
| FRANTIC (フランティック) | 〃 | E-0651 |
| Groundhog Day (恋はデジャ・ブ) | 〃 | E-0652 |
| HEAVEN AND EARTH (天と地) | 〃 | E-0653 |

| 資 料 名 | 音 声 | 資料番号 |
|--|-------------|--------|
| CLIFFHANGER (クリフハンガー) | (英 語) | E-0654 |
| FREE WILLY (フリー・ウィリー) | // | E-0655 |
| TINA (ティナ) | // | E-0657 |
| MUCH ADO ABOUT NOTHING (から騒ぎ) | // | E-0658 |
| TRUE ROMANCE (トゥルー・ロマンス) | // | E-0659 |
| BACKDRAFT (バックドラフト) | // | E-0662 |
| My Life (マイ・ライフ) | // | E-0663 |
| ATLANTIS (アトランティス) | // | E-0665 |
| L. A. STORY (L. A. ストーリー) | // | E-0670 |
| NIGHT ON EARTH (ナイト・オン・ザ・プラネット) | // | E-0671 |
| THE TRIAL (トライアル) | // | E-0672 |
| WAYNE'S WORLD (ウェインズ・ワールド) | // | E-0673 |
| HOWARD'S END (ハワーズ・エンド) | // | E-0674 |
| PATRIOT GAMES (パトリオット・ゲーム) | // | E-0675 |
| FAR AND AWAY (遙かなる大地へ) | // | E-0676 |
| UNDER SIEGE (沈黙の戦艦) | // | E-0677 |
| Scent of a Woman (セント・オブ・ウーマン -夢の香り-) | // | E-0678 |
| THE CRYING GAME (クライング・ゲーム) | // | E-0679 |
| THE ASSASSIN (アサシン) | // | E-0680 |
| SHADOWLANDS (永遠の愛に生きて) | // | E-0681 |
| THE MAN WITHOUT A FACE (顔のない天使) | // | E-0682 |
| Wyatt Earp (ワイアット・アープ) | // | E-0683 |
| LITTLE BUDDHA (リトル・ブッダ) | // | E-0684 |
| THE HOUSE OF THE SPIRITS (愛と精霊の家) | // | E-0685 |
| MALICE (冷たい月を抱く女) | // | E-0686 |
| THE PELICAN BRIEF (ペリカン文書) | // | E-0687 |
| Sleepless In Seattle (めぐり逢えたら) | // | E-0688 |
| COOL RUNNINGS (クール・ランニング) | // | E-0689 |
| JURASSIC PARK (ジュラシック・パーク) | // | E-0690 |
| THE AGE OF INNOCENCE (エイジ・オブ・イノセンス) | // | E-0691 |
| THE JOYLUCK CLUB (ジョイ・ラック・クラブ) | // | E-0692 |
| PHILADELPHIA (フィラデルフィア) | // | E-0693 |
| STEPHEN KING'S The Stand (ザ・スタンド) | // | E-0694 |
| SCHINDLER'S LIST (シンドラーのリスト) | // | E-0697 |
| Sarafina! (サラフィナ!) | // | E-0698 |
| Mrs. Doubtfire (ミセス・ダウト) | // | E-0699 |
| On deadly ground (沈黙の要塞) | // | E-0700 |
| Speed (スピード) | // | E-0703 |
| Short Cuts (ショート・カット) | // | E-0704 |
| Pulp fiction (パルプ・フィクション) | // | E-0706 |
| Interview with the vampire (インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア) | // | E-0707 |
| LES NUITS FAUVES (野性の夜に) | (フ ラ ン ス 語) | F-0219 |

| 資 料 名 | 音 声 | 資料番号 |
|--|---------|----------|
| KAMIKAZE (神風) | (フランス語) | F-0221 |
| TOXIC AFFAIR (可愛いだけじゃだめかしら) | 〃 | F-0224 |
| CLEO de 5 a 7 (5時から7時までのクレオ) | 〃 | F-0226 |
| Edith et MARCEL (恋に生きた女ピアフ) | 〃 | F-0237 |
| Nuit d'ete en ville (真夜中の恋愛論) | 〃 | F-0238 |
| Lune Froide (つめたく冷えた月) | 〃 | F-0239 |
| TOTO LE HEROS (トト・ザ・ヒーロー) | 〃 | F-0240 |
| L'accompagnatrice (伴奏者) | 〃 | F-0241 |
| C'est arrive pres de chez vous (ありふれた事件) | 〃 | F-0250 |
| Trois Couleurs : BLEU (トリコロール 青の愛) | 〃 | F-0254/1 |
| Trois Couleurs : BLANC (トリコロール 白の愛) | 〃 | F-0254/2 |
| Trois Couleurs : ROUGE (トリコロール 赤の愛) | 〃 | F-0254/3 |
| Topio stin omichli (霧の中の風景) | (ギリシア語) | G-0006 |
| 水の旅人 | (日本語) | J-0203 |
| 月はどっちに出ている | 〃 | J-0205 |
| ヌードの夜 | 〃 | J-0206 |
| 青春デンデケデケデケ | 〃 | J-0209 |
| 僕らはみんな生きている | 〃 | J-0210 |
| CHINGGIS KHAN (チンギス・ハーン) | (モンゴル語) | M-0003 |
| Khane doust kodjast (友だちのうちはどこ) | (ペルシャ語) | P-0025 |
| Zendegi edame darad (そして人生はつづく) | 〃 | P-0026 |
| Zir-e Derakhtan-e Zeytoon (オリーブの林をぬけて) | 〃 | P-0027 |
| AMANTES (アマンテス 愛人) | (スペイン語) | S-0049 |
| Matador (マタドール) | 〃 | S-0054 |
| El mariachi (エル・マリアッチ) | 〃 | S-0055 |
| 地球カタログ ピラミッド | (日本語) | AfX-0024 |

AV Journal ー第26号ー

1996年3月29日発行

編集 大阪外国語大学視聴覚教育委員会
 附属図書館視聴覚資料係
 発行 大阪外国語大学
 印刷 ㈱ムラタ印刷